

本当に耐えられるか

あの人がバス停にいないからだ。
 「あれからどうしてるかな。」
 と思うとまわりの音が聞こえなくなる。
 自分の世界に入ってしまう。

学校に着いて、思い出した。
 今日、アール校長の誕生日だそうだ。

誕生日がなぜオメデタイのかわからんが、
 それは、それ各々個人が持つ、一つの、
 大きな記念の日として、その人を褒め称え、
 又は、尊敬と愛を表す一つの手段、機会として、
 誕生日が存在し、それを、おそらく、
 オメデタイと言うのだろう。

気持ちを形に表す事の重要性を教えていると思う。

新入生との対面式、次ぎに、校長の誕生日祝賀式、
 ならびに演奏会で、式自体は、厳粛、形式張っていて、
 真に、窮屈な、冷たい時間を感じた。

僕はアール神父様が好きだから、
 本当は、個人的に、有志で、
 どんちゃん騒ぎでもして、お祝いしたい。

終わりになるほど、腹がキュウキュウ痛む。
 「飯を食わせろ！」とキュウキュウ痛む。

しかし、演奏会はよかった。